

# 松江市立天文台 ~5月の天文教室~

2013年5月15日

五月(さつき)晴れの名のとおり、5月になって春がすみの時期が過ぎると、空が澄んで星が良くみえるようになります。夜空を探せば、北斗七星やうしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、そして土星が見つけれられるはずです。

でも、これから夏至に向かって、星の見え始める時間が遅くなるのは、ちょっと残念ですね。

## 5月下旬の午後8時頃の星空



5月下旬の午後8時頃の星空です。月や土星は5月15日の位置を表示しています。実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下にして見ます。



## ★今夜の月

5月15日の月は月齢5で、ふたご座に位置しています。  
この頃の月は、太陽の光が横から当たるため、クレーターが作り出す  
陰影がとてもきれいに見えます。  
月は18日に上弦(半月)、25日に満月になります。

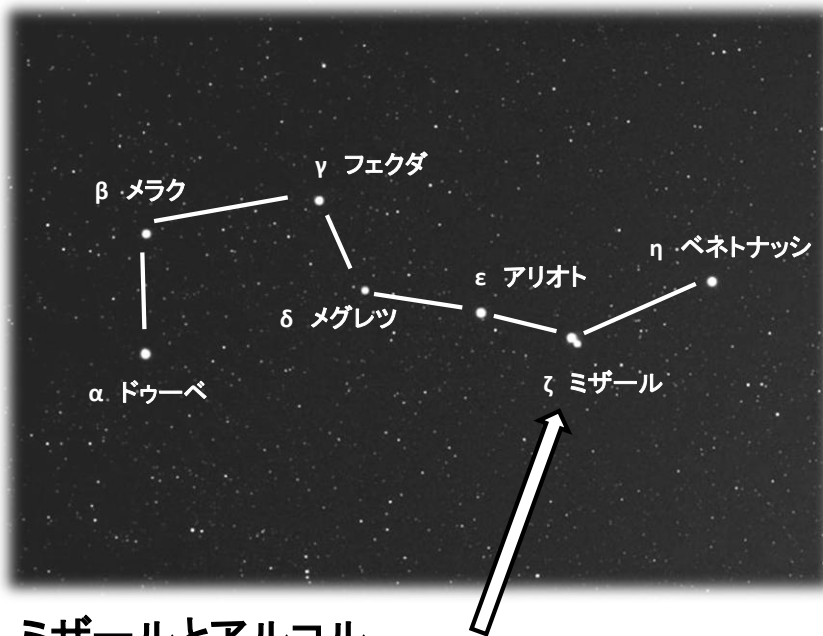
## ★土星が見頃です。

土星は私たちの地球と同じく、太陽を回る惑星の仲間で、  
「輪のある星」として有名です。  
小型の天体望遠鏡でも、その美しい姿を見ることができる  
ので、是非ご覧になってみてください。  
土星最大の衛星タイタンも見られます。



※月も土星も、実際に天体望遠鏡で見ると、上下左右がさかさまに見えます。

## ★北斗七星



北斗七星は春を代表する星ですが、  
その名前は「星座」ではなく、古代中  
国の星図にあたる「星宿」が起源です。  
星座としては、おおぐま座の一部で  
すが、私たちには北斗七星の方がなじ  
みがありますね。  
北斗七星はほとんど1年中見える  
ので、世界各地でいろいろな伝説が  
残っています。  
古代アラビアでは、棺について歩く  
3人の女性、北アメリカのインディ  
アンの間では、クマを追いかける3人の  
狩人と言い伝えられました。

## ミザールとアルコル

ミザールをよく見ると、小さな4等星がかたわらに光っています。いわゆる  
肉眼二重星で、アルコル(乗り手)という名前がついています。ミザール  
を馬、アルコルを騎手とみたてたものです。  
小型望遠鏡でミザールを注意して見ると、さらにもう一つ星が見えてきま  
す。  
つまりミザールは二重の二重星なのです。



次回の天文教室は  
6月19日(水) 20時から21時(受付19時30分から)

